

ほけんだより 12月

令和6年12月3日(火)
大崎市立川渡小学校
第10号

12月の保健目標 冬の生活について考えましょう。

早いもので今年もあとわずかとなりました。今年は閉校を意識した年でもあり、一つでも良い思い出を残そうと一生懸命物事に取り組んでいる児童の姿が印象に残りました。このまま冬休みまで元気に児童が活動することを願っています。本校での流行はまだ見られませんが、先月から市内ではインフルエンザが本格的に流行しています。お子さまが風邪症状や発熱、体調不良の場合は、無理せずにしっかり休養したり、受診したりするなどして万全な体調で登校していただければと思います。

※12月23日(月)に冬休み健康生活チェックを配付します。ご家庭でも生活リズムに気を付けながら冬休みをお過ごしください。



～インフルエンザ、新型コロナの出席停止期間について～

インフルエンザの場合 (例：3日目に解熱した場合、4日目に解熱した場合)

	発症日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
3日目に解熱した場合		発熱	発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	登校OK	
4日目に解熱した場合		発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	登校OK

新型コロナの場合 (例：4日目に症状が軽快した場合、5日目に症状が軽快した場合)

	発症日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
4日目に症状が軽快した場合		有症状	有症状	有症状	症状軽快	症状軽快後1日目	登校OK	
5日目に症状が軽快した場合		有症状	有症状	有症状	有症状	症状軽快	症状軽快後1日目	登校OK



【出席停止基準】

インフルエンザ・・・発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで。

新型コロナウイルス・・・発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後1日を経過するまで。

※医師から診断が出ましたら、早めに学校までご連絡ください。(84-7121)

※登校再開後数日は、できるだけマスクの着用をお願いします。



6年生 薬物乱用防止教室 11.27

学校薬剤師の先生が来校し、薬物乱用の危険性について講話をしていただきました。子供たちは「シンナーとは何ですか?」、「薬物依存になった人は自分でもやめられるんですか?」等、薬物乱用について真剣に考え質問している様子でした。「薬物乱用はダメ、絶対!」という強い意志をこれからも持ち続けてほしいと思います。



○すこやか委員会の報告○

すこやか委員会を11月29日（金）に開催し、教職員の他に、学校医・学校薬剤師・大崎市市民福祉課の皆様に参加していただき、子供たちの健康増進等に関する話し合いを行いました。その中から、健康診断結果等、ご指導いただいたことについてお知らせ致します。

川渡小報告

【健康診断結果について】前年度と比べると・・・

○視力B以下の児童の減少。

○肥満傾向（軽度～高度肥満）の児童の減少。

○歯列咬合の疑い、歯垢付着や歯肉に炎症がある児童の減少。

○歯科受診率の増加。

●眼科受診率の低下。

●むし歯児童の増加。

⇒健診の結果、受診が必要なお子さまは早めに受診していただき、受診が済んだお子さまは、受診報告書を学校までご提出ください。

【体力・運動能力調査結果について】

○立ち幅とびや長座体前屈等が全国・県平均を上回っている学年が多かった。

⇒朝運動や業間マラソンを通じて体力・運動能力の向上を目指している。今後は、各学年の実態に応じた外遊びや体育館等の室内での遊びを勧めていきたい。

【学校給食について】

○川渡小学校は他の学校と比べると残食率が低く、箸の使い方がきれいな児童が多い。

⇒しっかり食べてもらいたいため、岩出山給食センターの給食は給与栄養量が給与栄養目標量より高く設定している。

学校医より

- ・できるだけ予防接種を打つこと。（4年生⇒日本脳炎、6年生⇒二種混合）

【感染症について】

⇒感染症予防、せっけんでの手洗い・マスク等徹底してほしい。

インフルエンザ：大崎市内で流行してきているので感染症予防をすること。

コロナウイルス：昨年から5類。罹患すると重症化する人もいるので油断できない。病院でも37.4℃以上は検査基準となっている。ただし、熱がなくても陽性になることが多い。また、風邪を引いたといって受診するとコロナだったケースが多い。

マイコプラズマ肺炎：咳が長引いている時は、早めに受診すること。

手足口病：子供は重症化しないが、大人が罹患すると大変である。

学校薬剤師より

- ・今年度飲料水、プール水検査の異常は見られなかった。空気検査、照度検査は2月に実施予定。
- ・薬物乱用防止教室実施。6年生の反応がとても良かった。（元気が良く、質問ある人・感想ある人等積極的に挙手してくれた。）

大崎市市民福祉課より

- ・大崎市ではむし歯保有者が多い。
⇒乳幼児からの歯みがき、家庭での習慣化が大事。仕上げみがきの定着化を図る必要がある。食べたあとの歯みがき・うがいの習慣化により、大人になって歯周病や歯を失うことを防ぐことができる。
- ・大崎市では子供から大人まで肥満傾向が多い。
⇒みんなで意識・改革しないといけない。間食や食生活等食事意識が必要。（どんなものを食べるか。）

